

地震から身を守る

日本は世界でも有数の地震大国。地震は突然襲ってきます。日頃からの備えや心がけで、もしものときの被害を最小限に食い止めることができます。普段から災害の備え、情報を収集しておきましょう。

地震発生！

あわてず、騒がず、落ち着いて

- ① **まずわが身の安全を！**
座布団などで頭を保護し、丈夫なテーブルの下などに隠れる。家具の転倒にも注意。
- ② **すばやく火の始末を！**
調理器具や暖房器具の火を確実に消す。揺れがひどいときには、やけどの危険もあるので揺れがおさまってから。

から。ガスは元栓を閉め、電気はブレーカーを切る。

- ③ **脱出口の確保を！**
揺れの合間をみてドアや窓を開け、逃げ道を作る。
- ④ **あわてた行動はけがのもと！**
屋内で転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意する。
- ⑤ **外へ逃げるときはあわてずに！**
ガラスなどの落下物に注意。
- ⑥ **狭い路地や川べりには近づかない！**
ブロック塀や自動販売機などが倒れる危険があるので要注意。広い空き地や広場に避難する。
- ⑦ **山崩れ・がけ崩れ・津波に注意！**
住んでいる場所の状況を知っておくことが重要。危険を感じたらすぐに避難を。
- ⑧ **持ち物は最小限に。歩いて避難！**
活動しやすい服装で歩いて避難。荷

物は背負って手が使えるようにしておく。

- ⑨ **みんなで助け合って応急救護！**
子どもや高齢者、障がい者に気を配り、できるかぎり助け合う。
- ⑩ **正確な情報で、冷静な行動を！**
うわさやデマに振り回されないよう、テレビやラジオで正しい情報を。

わが家の安全を確認後、近隣の安否も確認しましょう。

万々に備えて家族で災害について話し合おう
地震などの災害が起きたとき、家族があわてずに行動できるよう話し合っておきましょう。
たとえば・・・
・一人ひとりの役割分担を決めておく
・家屋の危険な箇所を確認しておく
・連絡方法や避難場所を確認する
・非常持ち出し品をチェックしておく
など

地震の揺れと想定される被害

地震が起きたとき、地震の大きさや被害の程度は「震度」や「マグニチュード」で表示されます。「マグニチュード」は、地震そのものの大きさ(規模)を表し、「震度」はわたしたちが生活している場所での揺れの強さを表します。

- 震度7** 自分の意志で行動できない。ほとんどの家具が移動し、飛ぶ物もある。耐震性の高い住宅でも、傾いたり大きく破損したりする。
- 震度6強** 立っていられず、はわないと動けない。固定していない家具はほとんど移動、転倒する。
- 震度6弱** 立っていることが困難。壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。
- 震度5強** タンスなどの重い家具や自動販売機が倒れる。自動車の運転が困難になる。
- 震度5弱** 食器や本が落ちる。窓ガラスが割れたり、電柱が揺れたりする。
- 震度4** 歩行中に揺れを感じる。不安定な置物が倒れる。電線が大きく揺れる。
- 震度3** 屋内にいるほとんどの人が揺れを感じ、棚の食器が音を立てることがある。
- 震度2** 屋内にいる多くの人が揺れを感じる。
- 震度1** 屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。
- 震度0** 人は揺れを感じない。

車の運転中に地震が！ こんなときどうするの？

急ブレーキは事故の原因になります。徐々にスピードを落とし、道路の左側に停車し、エンジンを止め、ラジオで状況を確認しましょう。避難するときはキーをつけたままにし、ドアをロックしないで避難しましょう。



市では日本赤十字社と連携し、義援金を受け付けています

受付期間 9月30日(金)まで

① **募金箱** 市役所本庁舎1階の市民相談室、社会福祉課窓口のほか、各支所・行政サービスセンター窓口にあります。

② **義援金受付口座**

金融機関 郵便局・ゆうちょ銀行 **口座記号番号** 00140-8-507

口座加入者名 日本赤十字社 東北関東大震災義援金

※郵便局窓口での振替は手数料が免除されます。

お問い合わせ 市役所社会福祉課 ☎63-5113

★多くの皆さまから、温かいお気持ちをお寄せいただきました。

佐渡市内でお預かりしました義援金 759万40円(4月8日現在)を日本赤十字社新潟県支部へ送金しました。